

# 授業科目 基礎看護学実習 II

【担当教員名】 阿部 明美 他	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	90
【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：GI0】 看護を必要としている人々を受け持ち、看護過程を実際に展開し看護を実施する。「看護過程演習」で行った看護過程の展開を、実際に看護を必要としている人を受け持ち展開する。看護過程の展開を用いて看護診断を明らかにし、日常生活の援助技術を中心に対象に必要な看護を実施し評価する。				
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 実習の目的・目標および留意点をふまえ実習方法が説明できる。 2. 実習を行う上で必要な事故防止・倫理的配慮について説明できる。 3. 患者との援助的人間関係が形成できる。 4. 患者の基本的ニーズをアセスメントできる。 5. 患者の看護診断を明らかにし、患者に応じた計画の立案ができる。 6. 日常生活の援助技術を中心に、安全安楽・倫理的配慮を考慮し、患者に応じた援助が実施できる。 7. 実施した援助が評価できる。 8. グループダイナミクスやカンファレンスの意義について述べるができる。 9. グループメンバーと協力してカンファレンスが実施できる。 10. 実習での学びを通して今後の学習課題を明確にすることができる。				
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員	
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	1. 学内オリエンテーション 2. 病院・病棟オリエンテーション 3. 病棟実習（2週間） 1）一人の患者を受け持ち実習を行う 2）患者にとっての基本的ニーズをアセスメントし、看護診断を見出し計画の立案および援助を実施する 3）看護過程の各段階を、所定の記録用紙に整理する 4）カンファレンスの実施 5）実施した援助の評価 4. 実習のまとめ		実習グループを編成し、各実習施設にて実習を行う。 (基礎看護学教員および他の看護学科教員)	
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	ロイ看護モデルを使った看護の実践 第2版	松木光子編	ヌーヴェルヒロカワ	2009・2,200円＋税
参考書	実践的看護マニュアル 共通技術編	川島みどり編	看護の科学社	2005・6,300円＋税
	看護過程に沿った対象看護 病態生理 と看護のポイント	高木永子監修	学研	2005・4,200円＋税
その他の資料	実践へのフィードバックで活かす ア技術のエビデンス	ケ 深井喜代子監修	へるす出版	2006・4,200円＋税
	カルペニート 看護過程・看護診断入門 概念マップと看護計画の作成	リンダJ. パルベニー ト=モイエ、藤崎郁訳、 山勢博彰訳	医学書院	2007・3,800円＋税
【評価方法】 出席状況（10%） 実習目標の達成状況（70%） 終了レポート（20%）	【履修上の留意点】 1. 看護過程演習・基礎看護技術演習IIを履修していることが前提である。 2. 原則として、実習オリエンテーションを受けなければ、実習には出席できない。 3. 対象の安全・安楽の確保やプライバシーの保護など、倫理的な配慮には十分に留意する。 4. 日常生活の援助技術・フィジカルアセスメントの事前学習を充分行い実習に臨むこと。 5. 看護過程の展開方法について、振り返りを充分行うこと。			